

第100号

(令和第5号)

令和3年3月31日



公民館は交民館

# 三和

発行  
三和公民館  
金沢市上荒屋4丁目82番地  
TEL 240-7530

は三和公民館の館章です



式辞を述べる東館長

「常に目標を掲げ、目標達成のために何が必要なのかを考え、社会人としての自覚、責任

令和二年度、三館(押野・三和・西南部)合同成人式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厳戒態勢下と大雪が重なった一月九日(土)に、金沢市文化ホールで行われ、この日出席した二二名(押野六八名・三和七二名・西南部八一名)の新人が祝福を受けた。

また、今回は初めての試みとして会場に來られない新成人や家族のために、式の様子を編集した映像を限定した形で、一月十一日から十七日まで動画投稿サイト「ユーチューブ」で配信した。

式典のあと、恩師や、西南部中学校の大先輩である、大相撲の炎鵬関からのビデオメッセージも流れた。新成人たちは全員マスクを着用し、コロナ感染に注意しながら、中学校卒業アルバムのスライドショーを見るなどして、旧友との久しぶりの再会を喜び合っていた。



新成人を代表してあいさつする坂田 蓮さん(三和)

## 令和二年度 コロナ禍の三館合同成人式

野和西南部

### 祝 令和2年度 成人式

押野公民館  
三和公民館  
西南部公民館



三和校下 新成人のみなさん ~金沢市文化ホール~

令和3年度

## 三和校下防災会・三和公民館 スローガン決定!

新型コロナウイルス感染症拡大により、公民館行事が中止せざるを得ない中、校下の皆様が多額でも参加出来る行事を考えた、コロナ関連をテーマにした防災会と、テーマ自由の公民館スローガンを受賞されました。

### 防災会スローガン大賞

はなれても

心の距離は近づいて

西中 啓明

西中さんの大賞コメント  
凄くびっくりしました。緊急事態宣言の間は、お友達や家族とも距離をとった生活をしなければならなかったが、それでもお互いを思いやる気持ちを大切にしたいと思って考えました。

### 優秀賞

- マスクした?かぎしめた?...出かける時の合言葉!  
防災とコロナ対策一緒に備え家族の安全大きな成果  
こんにちは。マスクの下は笑顔です。  
うがい・手洗い・三密を避けて自分を守る・みんなを守る!  
災害やコロナも防ぐ三和の輪  
みんなの力でコロナに負けないまちづくり  
確かめようもしもの時のひなん場所  
ひろめない風のうわさとコロナ菌  
やれること・いっぱいあるよ・コロナでも  
続けよう!うがい・手洗い・防災習慣!  
身につけよう三密を避けてうがい手洗い  
弁当忘れてもマスク忘れるな!  
三つの和を一つに!今こそ団結の時
- 素都 学
  - 村田 健
  - 吉田 知世
  - 荒川 雅美
  - 小林 保
  - 道下 紀
  - 田中 菊枝
  - 荒納 聖
  - 稲丸 賢一
  - 北澤 明子
  - 坂本 康夫
  - 中川 慧一
  - 野尻 梓未

### 公民館スローガン大賞

おだやかに

すごせる地域の三つの和

小倉 玲子

小倉さんの大賞コメント  
大賞のハガキをいただいて大変びっくりしました。これからも健康で地域の行事に参加していきたいと思えます。ありがとうございます。

### 優秀賞

- 信頼と心の絆、三和公民館!  
ご近所の和で繋がる地域の輪  
公民館は触れ合い・楽しみ・憩いの場所  
パワーアップ三和!知恵と元気の分かち合い!  
参加しよう全世代絆を深める良いチャンス  
集いの場みんな笑顔で深めるワークアウト  
リスタート・三和から始まる・ニューライフ  
笑顔・挨拶広がる輪  
繋げよう!笑顔あふれる三和の輪を!  
地域の和、人との和、つなげる三和公民館  
みんなの笑顔でつながるわ三和公民館  
深めよう絆増やそう笑顔
- 浅野富士雄
  - 前田 隆史
  - 桶谷 治子
  - 東 勝英
  - 道下 紀
  - 朝倉 康之
  - 稲丸 賢一
  - 延命 愛
  - 北澤 明子
  - 東 久美子
  - 松本 優
  - 田村 克巳

垂れ幕にして玄関に掲げました



役員退任にあたって



文化教養部長  
坂本 晃

この度、三十年間務めさせていただきました三和公民館役員を退任させていただきます。在任中は歴代の館長並びに役員・委員の皆様方には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。永い様でも三十年間を振り返りますといずれの活動も昨日のように蘇り、活動では校下の皆様と多くの交流ができた事や自身が楽しんで取組めた事が財産となりました。今後は男性学級等生涯学習の一生徒として、公民館と縁して参りたいと考えております。



**第1号** 1987.6 (S62.6発行)  
 宮城徹三郎氏初代館長に就任(S62.4)  
 S62.4.1上荒屋文化センターを押野公民館  
 三和分館としてスタート



**第3号** 1988.3 (S63.3発行)  
 三和校下として、第1回成人式を  
 S63.1.15に三和分館で開催

(第1号)

(第3号)

**第6号** 1989.3 (H元3発行) 三和校下第2回成人式を、押野・西南部校下を含め  
 3校下合同で、マリアージュ玉姫殿で開催

**第10号** 1990.6 (H2.6発行) H2.4三和文化会館完成し押野公民館から独立後、  
 三和公民館としてスタート。同時に三和児童館も開館

**第11号** 1990.11 (H2.11発行) H2.11.11三和文化会館竣工記念講演会を、  
 落語家の5代目三遊亭円楽師匠を講師に迎え開催

**第16号** 1992.6 (H4.6発行) 細野昇氏2代目館長に就任



**第23号** 1994.12 (H6.12発行)  
 第19回金沢市民ソフトボール大会で初優勝

(第23号)

**第25号** 1995.6 (H7.6発行)  
 上荒屋街区の新しいシンボルゾーン  
 “時の広場”がH7.5.10完成



(第25号)

**第33号** 1998.7 (H10.7発行) 平野邦夫氏3代目館長に就任

**第45号** 2002.7 (H14.7発行) 泉屋邦夫氏4代目館長に就任／館報に一部カラー印刷採用

**第72号** 2011.7 (H23.7発行) 越村徳二氏5代目館長に就任

**第78号** 2013.7 (H25.7発行) 第17回史跡フェスタみわ「平安まつり」のオープニングに、  
 地元和太鼓グループ「愛鼓会」登場



**第79号** 2013.12 (H25.12発行)  
 第24回三和文化祭で、金沢第1消防団押野分団による  
 「加賀鳶はしご登り」の実演を披露

(第79号)

**第88号** 2016.12 (H28.12発行)  
 第27回三和文化祭に親父バンド「銀星団」が  
 登場し、懐かしのエレキギター演奏を披露



(第88号)

**第94号** 2018.12 (H30.12発行) 上荒屋地区連合町会が三和公民館へどん帳寄贈



在りし日の簡易水道塔  
 2017年(H29年)  
 9月10日撮影

**第97号** 2019.12 (R元.12発行)  
 三和地区のシンボルとしての簡易水道塔が、  
 60年の歴史に幕を閉じ、解体されることとなった

**第99号** 2020.7 (R2.7発行) 東学氏6代目館長に就任

# 新成人のつぶやき

まだ成人としての実感が  
 わきませんが、この日を元  
 気に迎えられうれしく思っ  
 ます。(女性)

成人式おめでとう。常に自  
 分らしく!前だけを見て歩  
 もう!(父)

これから社会人になる自  
 覚を持ち頑張ります。  
 (男性)

20年間、色々な人にお  
 世話になりました。ありが  
 とうございました。(男性)

夢に向かって頑張ります!  
 (男性)

無事、成人式を迎えるこ  
 とができました。これからも  
 がんばります。(男性)

自律を身につけた社会人  
 になりたいです。(女性)

両親に感謝。(男性)

成人としての自覚を持ち、  
 良識を持った大人になれ  
 るよう精進します。(女性)

責任ある行動を心がけて  
 いきたいです。(女性)

コロナ渦中、成人式を迎え  
 られること、嬉しく思いま  
 す。(男性)

やっと20歳になって  
 嬉しいです。(女性)

社会人として自立してい  
 かなければいけないと思  
 いますと、身が引き締まる思  
 いです。(女性)

今まで育ててくれた親に感  
 謝し、これからは成人とし  
 て何事も一生懸命取り組  
 みたい。(女性)

ついに成人!! 今まで関  
 わった全ての人に感謝で  
 す!ありがとうございます!  
 (女性)



## 金沢市公民館連合会創立70周年記念

# 第58回 金沢市公民館大会



表彰式は  
 三和公民館で  
 行いました



受賞された皆さまと東館長

前公民館長  
 青少年対策部委員

北村 越村  
 宏樹 徳二

十年

文化教養部長  
 文化教養部長

坂本 大崎  
 晃 健

三十年

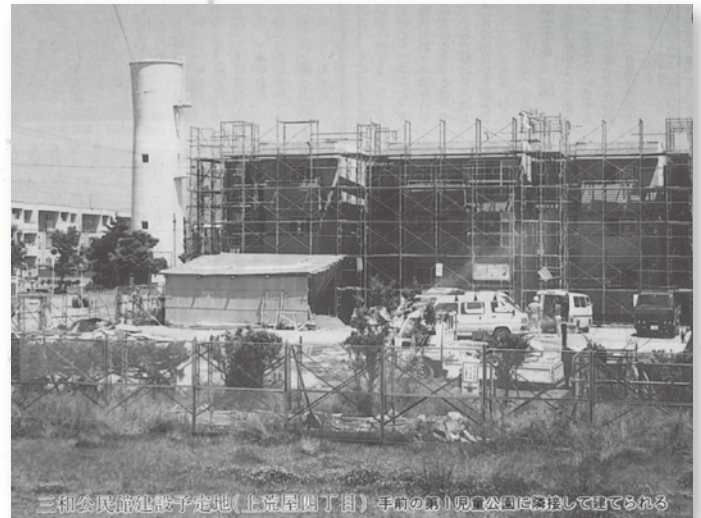
金沢市公民館永年勤続役員表彰  
 文化教養部長 坂本 晃

金沢市公民館優良役員表彰  
 文化教養部長 坂本 晃

公民館フェア楽集  
 金沢市公民館大会公民館フェア  
 「楽集」が二月二十一日(日)に規模  
 を縮小して、中央公民館彦三館か  
 ら、オンラインでの開催となった。  
 当公民館の被表彰者に対し、二  
 十三日(火)に三和公民館において、  
 東館長より各受賞者に表彰状及  
 び記念品が渡された。



S62年6月 館報第1号発行



三和公民館建設の様子(H元年6月 第7号より)

館報一〇〇号記念

特別寄稿

祝

三和公民館  
建設黎明期の想いで



初代公民館長  
宮城 徹三郎

三和公民館が押野公民館から分離し、押野公民館三和分館として産声を上げたのは、今から三十余年前の一九八七年(昭和六十二年)四月日の事でした。押野地区の人口増加に伴い、三和校下に新しい公民館建設が必然となったためでした。たまたま上荒屋の地に移住してさほど間もない私に地域の古老から公民館長就任の打診があり、自分の職種以外の事には全く無知でしたが、ボランティア活動の重要性を考えお引き受け致しました。

当時小生の住む上荒屋本町会から高速道路の間には殆ど民家がなく、一面田畑で蝉が飛び交い、蛙の大合唱が聞こえる実ののどかな場所でした。それもそのはず、市役所調査統計室によれば開館当時の三和校下の人口は五七二四人で、それが二〇二二年一月日現在で

は九二二人と大幅に増加し、世帯数に至っては約二・四倍に増えています。その地の一角に古い大きな集会所、上荒屋文化センターがあり、ここを、押野公民館三和分館と定め、新公民館建設準備室を兼ねることになりました。その建物の内壁に紅白の幕を張り成人式を催したのが当館最初の公式行事で、懐かしく思い出されます。各町会から推薦された公民館役員の皆様は、新公民館建設に多大な情熱を傾け、既存の公民館の状況などを参考に連日深夜まで準備にいらしていただきました。その中には既に故人となられた方もおられますが、一緒に頑張った皆様の面影は今でも脳裏に焼き付いています。先述の状況からみて三和校下は今後も発展し続けるでしょうし、同時に公民館の役割も増して来るものと思われ、次代を担う皆様のご活躍に期待致します。

最後になりましたが、その卓越した行動力で私共を導き、実質上の公民館建設に多大なる御尽力を頂いた当時の町連会長井戸谷二男氏、本館報を創刊し定期刊行の軌道に乗せた初代広報部長中山千秋氏に、深甚なる敬意を表します。

館報一〇〇号記念

特別寄稿

「竹川りん・解剖顕彰碑」を  
金沢歴史遺産に



五代目公民館長

越村 徳二

「館報みわ」、昭和六十二年(一九八七年)六月の創刊以来、今回で第二〇〇号が発行されました。館報を通し、活動状況の周知が図れることを願っております。

さて、金沢市では、地域の歴史・文化・自然遺産といった、地域で受け継がれている身近な「地域のお宝」を金沢歴史遺産として指定し後世に継承していく取り組みを始めたことに伴い、三和地区でまだ広く知られていないが次世代に継承していきたいとの思いから、上荒屋会館(上荒屋三丁目)の一角に立つ石碑で石川県で最初に献体された「竹川りん・解剖顕彰碑」を当該地域の歴史遺産として指定されるよう応募させていただきました。

竹川りんについて、出典さ

れている数々の文献では、りんは矢木荒屋(現上荒屋)に生まれ、明治十六年四月二十五日四十三歳で亡くなっている。盲人のりんは死にあたって自ら遺言して死因追及のために解剖を望んだとのことである。

この勇気ある遺言で、石川県で最初の「篤志解剖第三号」として、明治初期の医学の進歩の貴重な陰役になったとのことでもあります。

上荒屋七丁目地内の上荒屋遺跡は昭和六十一年十月に発掘され、国指定の史跡となり、町興しとか歴史・文化を学ぶ切っ掛けとなり公民館行事としても利用されている。

医学関係者の感謝を込めた碑文が刻まれている石碑が地域のお宝として「金沢歴史遺産」として登録され後世に受け継がれていくことを願っている。



石川県最初の検体者  
竹川りん氏の顕彰碑  
(上荒屋会館地内)

## 館報「みわ」100号までの歩み

| 歴代公民館長 | 氏名  |        | 在任期間                        |
|--------|-----|--------|-----------------------------|
|        | 初代  | 宮城 徹三郎 | 1987.4(S62.4)～1992.3(H4.3)  |
|        | 2代目 | 細野 昇   | 1992.4(H4.4)～1998.3(H10.3)  |
|        | 3代目 | 平野 邦夫  | 1998.4(H10.4)～2002.3(H14.3) |
|        | 4代目 | 泉屋 邦夫  | 2002.4(H14.4)～2011.3(H23.3) |
|        | 5代目 | 越村 徳二  | 2011.4(H23.4)～2020.3(R2.3)  |
|        | 6代目 | 東 学    | 2020.4(R2.4)～現在             |



H8年11月 上荒屋西部土地区画整理登記完了後の様子(黄色枠内は上荒屋つばき公園)  
～いにしえから未来へ 上荒屋西部土地区画整理事業完工記念誌より～